

授業科目名	<p style="text-align: center;">研 究 方 法 (研 究 方 法 総 論) <i>Research Methods</i></p>		担当教員	<p style="text-align: center;">中村 光江、小林 裕美 姫野 稔子</p>	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	看護・保健領域における研究方法の基本概念および考え方を修得する。実践における研究活動に必要な基礎的能力を修得することができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 量的研究法と質的研究法の基本概念および考え方を理解できる 2. Research Question と研究目的に応じて最適の研究デザインを選択できる 3. 研究計画書作成のステップを踏むことができる 4. 臨床での事象を研究活動に結び付けることができる 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 回 研究の概要と研究方法 (中村) 2 回 文献レビューと文献のクリティーク (中村) 3 回 Research Question と研究目的に応じた研究デザインの選択 (中村) 4 回 研究における研究倫理の確保、研究の限界 (中村) 5 回 研究計画書作成のステップ (中村) 6 回 量的研究の進め方①主な研究デザイン (姫野) 7 回 量的研究の進め方②研究の枠組みと仮説の設定 (姫野) 8 回 量的研究の進め方③データの収集方法 (姫野) 9 回 量的研究の進め方④データの分析方法 (姫野) 10 回 質的研究の特質と目的 (小林) 11 回 質的研究におけるデータ、データ収集 (小林) 12 回 質的研究における真実性と質の確保 (小林) 13 回 質的研究におけるデータ分析とまとめ方 (小林) 14 回 討議 1 事例研究・質的研究 (研究テーマ、研究デザイン) (中村・小林・姫野) 15 回 討議 2 量的研究 (研究テーマ、研究デザイン) (中村・小林・姫野) 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学士課程において修得しておくべき知識については、各自学習してから参加してください。 ・ 授業は、教員による講義および教員-院生間による討論にて進めます。 ・ つねに自分の修士論文のテーマを意識して事後学習をしてください。 				
オフィスアワー	<p>以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。</p> <p>中村：火曜日・木曜日の昼休み, m-nakamura@jrckicn.ac.jp</p> <p>小林：金曜日の昼休み, h-kobayashi@jrckicn.ac.jp</p> <p>姫野：火曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp</p>				
テキスト	南 裕子：看護における研究。東京，日本看護協会出版会，2008.				
参考文献	<p>D. F. ポーリット：看護研究－原理と方法（第2版）－。東京，医学書院，2010.</p> <p>バーンズ&グローブ：看護研究入門－実施・評価・活用－。東京，エルゼビア・ジャパン，2015.</p> <p>小玉香津子，輪湖史子：看護研究計画書作成の基本ステップ。東京，日本看護協会出版会，1999.</p>				
評価方法	授業参加度（20%）、試験（80%）				